

各委員の意見集約表

◆「次第1 各専門分科会の活動報告」について

【民生児童委員専門分科会について】

高い充足率で活動いただいているが、委員の高齢化等もあり、新任委員の確保に更に努力をしていただきたい。

【障害者福祉専門分科会について】

「障害福祉計画」「障害児福祉計画」ともに、上位計画との整合性のもと、具体的にかつ行政内での連動等を考慮した立案・調整を行っていただきたい。
また、児童の療育に関する施策の拡充をお願いしたい。

◆「次第2 明石市の福祉・こども関係重点施策（福祉施設の整備及び人材育成の取り組み）」について

【市民サポーター（仮称）の育成について】

人材育成においては、単に「専門職の人材確保」や「就職フェアの開催」だけでなく、「市民による市民のためのサポート（市民サポーター）」の育成にも取り組んでいただきたい。

【医療的ケアの必要な障害児等が利用できる施設整備について】

市内では、医療的ケアの必要な障害児等が利用できる事業所が皆無に近い。
是非、事業所の整備や、そういったこども達を受け入れる事業所への十分な助成制度の構築をお願いしたい。

【施設整備について】

グループホームの更なる整備もさることながら、関連する地域生活を支えるためには、ショートステイ施設、体験ホーム施設等の整備が急がれる。

【人材確保について】

当団体においても重要課題と考えており、フェアの実施等への支援をお願いしたい。

【コロナ禍を踏まえた対応について】

新型コロナウイルスのクラスター感染が複数の施設で発生した。
施設への指導や人材育成への取り組みを引き続きお願いしたい。

◆「次第2 明石市の福祉・子ども関係重点施策（第4次地域福祉計画の策定）」について

【「重層的支援体制整備事業」の実施に向けて】

2022年度より、明石市は国が示す「重層的支援体制整備事業」を実施していくとのことだが、今回の地域福祉計画策定においても、当該事業の文言をしっかりと盛り込んで、計画策定をお願いしたい。

【コロナ禍を踏まえた対応について】

コロナ禍の中、地域活動の自粛で、フレイル状態か認知機能の低下が散見される。
第4次地域福祉計画には、これらの現状を踏まえたきめ細かい計画の策定をお願いしたい。

◆「次第2 明石市の福祉・子ども関係重点施策（認知症安心プロジェクト）」について

【男性介護者の支援について】

市内において、男性介護者が気軽に相談できる拠点等の設置をお願いしたい。

【支援体制の構築について】

活動の中で、認知症の方や高齢者世帯等の増加が見受けられ、大変気になっている。
当該者やそのご家族が安心できるよう、当団体や社会福祉協議会、包括支援センターや総合支援センター等、各機関間での連携を密にし、適切なサポートを実施していくための仕組みづくりが必要であると考えます。

◆その他について

【児童の保護について】

家庭環境不良等による児童の保護方法、施設保護対象者増に係る対応は、喫緊の課題であると考えます。

【コロナ禍における虐待及び対応策について】

コロナ禍の現状、心理的負担の増大が、昨今の育児能力の低下に輪をかけ、虐待の危険性が増していると言える。
そのような中で、里親の取り組みを支援するために、定期的な相談会の開催や、日常的な相談窓口の設置等、里親が抱える苦勞や悩みを解消できるよう配慮をお願いしたい。